

No	1.評価項目と戦略案(代替素案)について(グループ検討の進め方、内容等)	2.今後の予定について	その他、PIプロジェクトに関するご意見
1	<p>① 評価項目(指標)について ア 戦略案(代替素案)比較のための評価項目と題されているが、実質は現行計画とそれに代わる代替案とを比較するための指標でしかなく、これまでの勉強会で出された沼津市中心市街地の課題を解決するための様々な意見・提案を踏まえることなく、沼津駅を中心とした半径500m若しくは1kmの範囲での、つまり現行計画が想定する範囲内の「地域づくりの目標」に限定し、そのうえで現行計画と代替案とを比較させるという手法を採っている。 「地域づくりの目標」を絞り込んだうえで設ける指標については、既に都市計画決定された現計画をなぞるだけであり意味を持たない。比較のために数値化できる指標を設けたいとの考えは理解できないものではないが、現計画には、これまでの勉強会で出された沼津市中心市街地の課題を解決するための様々な意見・提案のうち、今回の戦略案(代替素案)の「地域づくりの目標」に何が盛り込まれていないか、といった点検がなされないまま進行していることが問題である。 すなわち、多くの人から沼津市中心市街地の活性化のために望まれているが、現計画にはないために「地域づくりの目標」からはずされた目標や案があり、そうすることで設けた「評価項目」を比較するための「指標」の設定には、かなり意図的なものがある。 「地域づくりの目標」から「評価項目」を抽出し、「評価指標」を設定する作業は、勉強会での合意形成を要するものであり、それが省かれたまま進められることに異議がある。 イ 評価項目として掲げられ得るか検討が必要ではあるが、都市計画決定に至るまでの社会的・経済的諸事情と今日の沼津市のおかれた状況は様変わりし、その差異を問い直すことが必要で、どういう形か評価項目に盛り込むようにしたい。 市民税など市の歳入が年々減少するとともに、市債残高が増嵩し、市の財政見通しが不透明な状況の中で、沼津駅周辺整備事業についても経費を最小限にとどめるという目標、評価指標を設定したうえで、戦略案(代替素案)を比較すべきである。 ウ 今後、沼津市の人口は減少の一途を辿り、市街地の衰退化が進むことが予想されることから、沼津駅周辺整備事業についても工事期間の短縮が必須となる。駅周辺整備に15年も20年もかかり、工事期間中は商業活動も停滞を余儀なくされる。沼津市はますます衰退していくばかりであり、工事期間の短縮も指標に織り込むことが必要である。</p> <p>② 戦略案について ア 今回、またしても戦略案が一方向的に提示されたことは問題で、今回は、誰も望まないような、時間と費用が嵩み無駄の多い戦略案が提示され、今回も私たちのAグループの参加者の多数が、まだまだ絞りきれぬ余地が多いと感じた第2案が出された。事業費については参加者に是非の判断は出来かねる上、工事期間もなぜか長めに設定してあり、意図的なものを感じる。 イ 沼津市の財政見通しや事業効果の発現、工事期間短縮の必要性などを総合的に勘案し、誰もが納得できる「戦略B案」の修正案を勉強会参加者の意見を基にして作成し直すべきである。私の参加したグループでは、「戦略B2案」について「南北自由通路」と「三ツ目ガード拡幅改修」を最小限実現を図る課題とし、そのほかは財政状況の許す範囲で取り組むべきだとの意見が多数を占めている。①の評価項目(指標)についての考え方で記したとおり、最小の経費と最短の工事期間で実施することを目指すべきである。 ウ 勉強会のなかで話題に上った、駅から沼津駅を中心とした半径500m若しくは1kmの範囲であるが、現計画の事業区域外の地区におけるまちづくりの課題や要望について、戦略案を検討するなかで織り込むことはできないのか。</p>	<p>1で記したとおり、勉強会参加者の意見や要望に基づいて代替案を検討し合う時間をしっかり設けていただきたい。</p>	<p>なし</p>
2			<p>解りやすい資料づくり、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。</p>
3	<p>1. 資料2-1、頁7~14地域づくりの目標と頁15~17さらに戦略案に至る文面には、論理的に飛躍が見られ、戦略案の評価指標が何故500、1kmなのか、3月までのぎろんではもっと広範囲だったが、議論した内容と異なる方向になっている。 2. この戦略案の論理的飛躍は、作為的誘導と写る。ステップ2までの議論を踏まえた目標と評価項目の設定をすべきであって、これらの設定が事務局だけで作成しているが、勉強会メンバーの参加は考えていないのか。 3. ここに「まちづくり」の全体像(どのようなまちにするのか)は見えない。 示される「まち」の方向はいわゆるコンパクトシティ指向か。それは郊外移住者を街中に戻すこと=個人的二重投資=経済的に見ても出来る人は少数=駅周辺の高コスト住宅を購入できる若年者は少数=具体性に欠ける。 4. 代替素案の中の個別対応型B-1、B-2ともに、ステップ2までの議論では話題にもならなかった不必要なオーバースが提示されているが何故か。 「総合整備型と同じ効果を求めるなら」の前提があったとしても、3本のアンダーパスは線形改修と4車線化で十分だし、やるなら三つ目だけでいいだろう。</p>		<p>資料について、 1. 量が多くて関連付けに苦労する。もっとコンパクトにならないか。 2. 参考資料「駅事例集」に事業費(分担額)と工期(計画~完成)が入っていない。</p>

	<p>5. 概算事業費及び事業期間について、暫定値であってもアバウトすぎる。特に個別対応型の事業費、工期が、総合整備型より金も時間もかかるなどという表記は誤解を招くことになる。不要なものの羅列は、金と工期の水増しではないのか。</p> <p>6. 東部拠点都市復活は見込めない沼津、どの案を実施するにしてもこれらは行政主導＝無限のハコモノづくり(利権屋の餌食)＝巨額の税金投入＝国、地方の危機的財政＝現財政無視＝借金の先送りにほかならない。駅周辺再開発≠経済効果、中心市街地の活性化はその事業者の責任、現実を踏まえよ。</p> <p>7. 人口減＝税収減に加えて、既存のインフラ更新や補修が全国的に問題視され、沼津市も例外ではない。ごみ焼却場一つでも2百数十億、その他公共施設、道路、橋梁などを含めると軽く1千億超、新規投資に回せる財源の保障はない。</p> <p>8. 求められる目的＝南北通行の利便性向上による交流人口増＝ローコストで実現可能なもの＝民間の知恵と活力の利用。賑わいのためには、大胆な交通体系の策定＝街中に車を入れない(人車分離)＝広域的LRT導入。</p>		
4	進行役がたいへんだったと思います。		沼津のまちを活性化したいという思いは、皆さんあります。お金さえあれば、高架が一番良いと意見が一致しました。皆さんのエネルギーをうまくまとめる手法・仕掛けがほしいと感じました。
5			初めて参加させていただきまして、非常に勉強になりました。
6	<p>①評価項目(指標)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 市債が1,400億円もあり、税収が年々減少している状況の中で、経費のかからないという目標、評価指標を設定しておくべきである。 年々沼津市は人口減少、市街地の衰退化が進んでいることから、工事期間が問題となる。15年も20年も掛かる間に、沼津市はますます衰退していく。工事期間の指標も必要である。 工事期間中のデメリットとして、どんなことがあるのか明確にすべきである。例えば「工事期間中交通が遮断される」とか「15年間経過しないと高架が実現しない」、「貨物駅、車両基地の移転ができないと高架は実現しない」等 <p>②戦略案について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局から一方的に提示することは望ましくない。私が前回も、今回も指摘しましたが、勉強会に参加している人が誰も言っていないのにオーバーパスが何本もある「戦略B案」、「戦略B2案」を出してきたことは、理解に苦しむ。言い方を変えれば「事務局はこんな程度で考えてきたのか」と不信感を持たざるを得ない。 特に「戦略B案」、「戦略B2案」の工事費用と工事期間の数字を大幅に大きくしていることは「意図的であり」、悪く解釈すれば「作為的」である。もっと素直に経費も期間も短縮できる「戦略案」があるはずである。 今回提示した「戦略案」及び「戦略B2案」は両方とも大幅に修正すべきである。 私の参加したグループは、戦略B2案について「南北自由通路＋三ツ目ガードの改修(オーバーパス)」でまとまったので、この修正案での経費と工事期間等を明確にすべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 5月25日の原のグループと駅周辺グループの合同勉強会では、勉強会の経過について報告し、それに対する質問と意見を交換した上で、それぞれの「戦略案」について、自由に意見交換すべきと思う。 特に一番問題になっているのは「貨物駅の移転問題」であることから、率直にこの問題について、どのように考えているのか意見交換しておきたい。この点が明確にならない限り、高架推進事業の進展はないと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会の中で「今後の沼津市の税収」、「今後の人口変遷」、「現状の交通渋滞の実体」について明確にしておきたい。特に、三ツ目ガードの交通事情の正確な把握が大事だと考える。最近の「渋滞情報」では、「三ツ目ガード」とか「杉崎町交差点」情報は聞かなくなっているし、逆に「三園町」とか、「学園通り」、「国道1号」が渋滞しているのが実態である。 第5回勉強会では、「参考資料」(追加1)を出していただいた。カラー印刷され、大変詳しい資料を提示していただきありがたい。ただし、東静岡駅、清水駅、小田原駅などの「経費」と「工事期間」も調査し必ず添えていただきたい。大事なことが抜けていると資料としての価値が半減してしまう。
7	必要なものといらないものを詳しく、資料があったら良かったかも、期限も…。	意見交換がスムーズに行き、沼津市民が住み続けたい町づくりの合意が出来たら良い。ソフト面で、解決できることもあるかも(交通、一方通行とか、信号の長さ変更とか)。	出来てしまった施設の活用も今後の問題であるので、沼津市の考え方を知りたい。
8	グループの人の入替を行ったことにより、活発な意見が出た。	次回の原地区の方との話を楽しみにしています。(不安もあるが…)幅広い年齢の方の参加が必要だと思います。	資料作り、たいへんでしょうが、がんばって下さい。
9	<ul style="list-style-type: none"> 非常にご苦労されて作っていただいた事に感謝。 ただ作り込みが詳細すぎ、わかりにくい難点があり、もう少しシンプルにしたら判断材料が分かりやすく、結論を導き易いと思う。 	あとどの位の日数をかけていくのか、今後のスケジュールをある程度知りたいです。回数や開催時期。	メンバーの入れ替えがあり不安でしたが、非常に良い意見交換ができました。
10	資料4のP11～12は見やすく、今回の議論に役立った。それぞれの個別事業の完了時期がわかると良い。		
11	時間が足りないと思います。再度議論したい。		限られた時間内に、決められた議論を消化するのは難しいと感じています。じっくり時間をかけて欲しいです。
12			発言が一部の人にかたよる。1回の発言時間を決めても良いのでは？
13			テーブルが小さくて資料が広げられない。
14	<ul style="list-style-type: none"> 高架賛成、反対の立場での発言が強く、もう少し冷静な議論をすべきだと思う。 高架化、まちづくり等の知識差が大きい。 		